

発議案第14号

沖縄の米軍属による許しがたい重大犯罪に抗議する決議について

上記の発議案を別紙のとおり会議規則第14条第1項の規定により提出します。

平成28年6月21日

八千代市議会

議長 嵐 芳 隆 様

提出者	八千代市議会議員	堀 口 明 子	㊟
賛成者	八千代市議会議員	伊 原 忠	㊟
	同	植 田 進	㊟
	同	三 田 登	㊟
	同	高 山 敏 朗	㊟

提案理由

国に対し、沖縄の米軍属による許しがたい重大犯罪に強く抗議する。

これが、本案を提出する理由である。

沖縄の米軍属による許しがたい重大犯罪に抗議する決議

米空軍嘉手納基地の軍属（元米海兵隊員）が、沖縄県うるま市の20歳の女性の死体を遺棄した容疑で逮捕された。起きてはならない悲劇が、また繰り返されたことに、沖縄はもとより日本全国に怒りと悲しみが広がっている。夢と希望に満ちた20歳の女性の人生を突然奪い去り、無事を願っていた家族等の心情を考えれば、断じて許すことのできない凶悪犯罪である。

さらに、沖縄県の調査では、1972年の日本復帰から2015年末までの米軍関係者（軍人・軍属・家族）による犯罪の検挙数が5,896件に上っており、そのうち殺人・性的暴行・強盗・放火といった凶悪犯罪は574件と1割近くを占めている。このような背景には、国土面積のわずか0.6%の沖縄県に、在日米軍専用基地面積の約75%が集中する異常な事態があることは明らかである。

日本政府は、これまでも重大事件のたびに、米側に対し「再発防止」を申し入れ、沖縄の米軍関係者も「綱紀粛正」は約束するものの、事件は繰り返されてきた。沖縄では「米軍基地がある限り、今後も犠牲者が出る恐れは避けられない」とする声が沸き起こっている。沖縄の地元紙には、米軍が「約束」を守れないなら、「選択肢は一つしかない。沖縄から去ることだ。」との主張も見られるが、これは全ての沖縄県民を代弁する切実な声であり、多くの国民の思いでもある。

よって、本市議会は国に対し、沖縄の米軍属による許しがたい重大犯罪に強く抗議するものである。

以上、決議する。

平成28年6月29日

八千代市議会